

大学組織・人事シリーズ第4回

事例で考える 大学組織・人材マネジメントの実践

日時 東京 平成17年1月19日(水)13:30~17:00	大阪 平成17年1月17日(月)13:30~17:00
会場 JJK会館(全国情報サービス産業厚生年金基金会館)	会場 住友クラブ
対象 大学理事長・事務局長の方々	
講師 研究事業本部 人材育成キャリア開発クラスター(東京)	主任研究員 赤堀新一
研究事業本部 人事組織戦略クラスター (大阪)	主任研究員 久保田智之
(* 両会場とも同一内容となります。)	

参加のおすすめ

これからの時代は、“ユビキタスの時代”と言われ、場所を限定しない双方向のコミュニケーションが実現できることから、社会・学生対応の質・スピードが高まる一方、物理的な距離や規制などの障壁によって守られてきた人材・情報の価値が変化し、さらなる大学間競争が避けられない状況と推察されます。

本セミナーでは、今後構築すべき組織・人材システム・マネジメントのあり方について、弊社のコンサルや研究事例をご紹介しながら、その背景や期待される効果、あるいは留意すべき副作用について解説しつつ、一緒に考えて参りたいと思います。セミナーの最後に質疑応答の時間を設定させていただきます。

セミナープログラム(主な内容)

I 組織・人材システム・マネジメントにおける研究事例

- 経営課題の意思決定におけるリーダーシップ
 - (1)アメリカの大学に見るファカルティとトラステーズ
 - (2)情報開示とパブリシティ(広報活動)
 - (3)組織のネットワーク化と共同体組織の変容
- 教員の意識改革
 - (1)ボーディングスクールに見る教育理念
 - (2)FDと評価制度、ナレッジマネジメントへの展開
 - (3)バウンダリーレス・キャリアと人事システム
- アドミニストレーター化・プロフェッショナル化
 - (1)目標管理制度のカスタマイズ
 - (2)バランス・スコアカードの検討
 - (3)キャリアパス、キャリアデザインの試行
- 教員・職員における組織連携・協働体制
 - (1)ノートルダム大学におけるエンrollment・マネジメント
 - (2)マトリックス組織、プロジェクト組織
 - (3)クロス・ファンクショナルチーム

II 人事システム・人材マネジメントの実施事例

- 人材モデルと資格制度の設計
 - (1)人材モデルとキャリアパスをつくる
 - (2)役職の任免、世代交代をいかにすすめるのか
- 給与制度の構築の方法
 - (1)人件費構造を把握する
 - (2)俸給(基本給)体系の再構築
 - (3)諸手当は整理統合を行う
 - (4)時間外手当と裁量労働制について検討する
 - (5)評価を反映する賞与制度の設計
 - (6)基本給と連動しない退職金制度をつくる
- 評価制度
 - (1)独自の目標管理制度を推進する
 - (2)教員:教育・研究・学内外活動の詳細項目をどの程度作るのか
 - (3)職員:改革志向型の項目設定を行う
- 教育・研修
 - (1)基本マネジメント研修は必要スキルである
 - (2)ワークショップ形式により、相互啓発を進める